

北海道出身で、クラシックやシャンソンを歌い、その後ジャズに目覚めて、ジャズの本場であるアメリカのニューヨークやヒューストンなどで活動してきたという女性シンガー、高田恵美のセカンド・アルバム。ニューヨークで21年間活動していたギタリスト井上智のプロデュースで、ニューヨークの精鋭ミュージシャンたちに加えて、彼女の師匠でもあるマリオン・カウイングス(vo)も参加してレコーディングされており、「It Might As Well Be Spring」「All The Things You Are」などをはじめとするジャズのスタンダード・ナンバーに加えて、バーブラ・ストライサンドの「Why Did I Choose You」、そして「見上げてごらん夜の星を」といったバラエティに富んだ楽曲を歌っている。

高田恵美のボーカルは、メロディと歌詞の一言一言をととても丁寧に、じっくりと歌っていく。不自然にフェイクしたり、歌唱力を誇示しようとしたり、これ見よがしに“ジャズっぽく”歌うことはせず、メロディと歌詞を、とてもストレートに、そしてナチュラルに表現している。だから楽曲と彼女の声の良さが、ストレートにリスナーのハートに伝わってくる。ほんとうに自然なボーカルだ。シンプルだけど美しい。優しいけど、深い。そしてそんな彼女のコットンのような純粋な歌声を、そのままアルバムに刻み込んだ井上智のプロデュース・センスの良さ、そしてミュージシャンたちの歌心の豊さも、このアルバムの大きな魅力だ。

特にピアノとのデュオで淡々と歌われるタイトル曲の「Why Did I Choose You」、そしてラスト、マリオン・カウイングスとのデュオで歌われる「見上げてごらん夜の星を」などでの、とても素直で、飾り気がなく、だが思いが込められた歌声が感動的だ。

このアルバムで彼女は、ことさら“ジャズ”を歌おうとはしていない。ジャンルやスタイルに縛られず、ただ“歌”を、心を込めて歌っているだけだ。いい楽曲といい歌声があれば、それ以上は必要ない。そんなことをあらためて気付かせてくれるような、とてもステキなボーカル・アルバムだ。

熊谷美広（音楽ライター）